自己抗体検査

全身性自己抗体

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器(No.)	保存	所要日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
3562	RF定量 5G160-0000-023-062	血清 0.3	1	冷蔵	1~3	30 免疫	LA	15.0以下 IU/mL		【高値】関節リウマチ･SLE 強皮症 肝硬変･肝炎(急性･慢性)
3847	IgG型リウマチ因子 5G161-0000-023-023	血清 0.3	1	冷蔵	3~5	198 免疫	ELISA	2.0未満		【高値】関節リウマチ･SLE
3525	抗核抗体(半定量) 5G010-0000-023-162	血清 0.3	1	冷蔵	3~5	102 免疫	FA	40未満 倍		【高値】自己免疫性疾患 (SLE、自己免疫性肝炎、強皮症、筋炎、甲状腺炎など)
3783	抗ミトコンドリア抗体(半定量) 5G175-0000-023-162	血清 0.5	1	冷蔵	3~5	181 免疫	FA	20未満 倍		【高値】原発性胆汁性肝硬変 慢性活動性肝炎･肝硬変 自己免疫性肝炎 アルコール性肝炎
3788	抗ミトコンドリアM2抗体(定量) 5G176-0000-023-023	血清 0.3	1	冷蔵	3~5	189 免疫	FEIA	7.0未満 U/mL	(±)7.0~10.0 以下 (+)10.0を越える	
2513	MMP-3 (ﾏﾄﾘｯｸｽﾒﾀﾛﾌﾟﾛﾃｨﾅｰｾﾞ3) 3B503-0000-023-062	血清 0.2	1	冷蔵	1~3	116 免疫	LTIA	男 36.9~121.0 女 17.3~ 59.7 ng /mL		【高値】リウマチ様関節炎 関節リウマチ･SLE
9015	抗DNA抗体 5G020-0000-023-002	血清 0.3	1	冷蔵	3~5	163 免疫	RIA (硫安塩析法)	6.0以下 IU/mL	血漿検体不可	【高値】SLE･血管炎･強皮症 Overlap症候群･肝硬変 原発性シェーグレン症
3823	抗dsDNA抗体 IgG 5G036-0000-023-052	血清 0.4	1	冷蔵	3~5		CLEIA	12.0以下 IU/mL		【高値】SLE･Overlap症候群
3678	抗ssDNA抗体IgG 5G026-0000-023-023	血清 0.3	1	冷蔵	3~5		ELISA	25.0以下 AU/mL		【高値】自己免疫性疾患 (SLE、自己免疫性肝炎、強皮症、筋炎、甲状腺炎など)
9699	抗ガラクトース欠損IgG抗体 5G166-0000-023-053	血清 0.3	1	冷蔵	4~6	114 免疫	ECLIA	6.0未満 AU/mL		【高値】関節リウマチ･SLE･強皮症
2913	抗ARS抗体 (アミノアシルtRNA合成酵素) 5G121-0000-023-023	血清 0.3	1	冷蔵	3~9	190 免疫	ELISA	25.0未満(ー)	不活化検体は結果に影響及ぼす可能性がありますので避けてください。	【陽性】間質性肺炎･多発性筋炎 皮膚筋炎

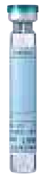
※リウマトイド因子(RF)定量、抗ガラクトース欠損IgG抗体定量、マトリックスメタロプロティナーゼ3(MMP-3)、C1q結合免疫複合体、モノクローナルRF結合免疫複合体、IgG型リウマトイド因子のうち3項目以上を併せて実施した場合には、主たるもの2つに限り算定する。
※抗ガラクトース欠損IgG抗体定量とリウマトイド因子(RF)定量を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
※抗ARS抗体と抗Jo−1抗体定性、同半定量又は同定量を併せて実施した場合は主たるもののみ算定する。

1 真空採血管

1 血清･血漿用

56 エンドトキシン β-D-グルカン

57 エンドトキシン(透析液)



専用容器 透析液細菌検査R2A-MF

専用容器 エンドトキシン透析液RO

感染症･ウイルス検査／自己抗体検査

自己抗体検査

全身性自己抗体

コード	検査項目 JLAC10コード		検体量(mL)	容器(No.)	保存	所要日数	実施料判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
3600	抗Jo-1抗体	半定量	血清 0.3	1	冷蔵	4~6	140 免疫	オクタロニー法	陰性 倍		【陽性】多発性筋炎(PM) 皮膚筋炎(DM)
2350	5G120-0000-023-092 5G120-0000-023-052	CLEIA	血清 0.5			3~5	140 免疫	CLEIA	10.0未満 U/mL		
3822	抗RNP抗体	半定量	血清 0.5	1	冷蔵	4~6	144 免疫	オクタロニー法	陰性 倍		【陽性】混合性結合組織病(MCTD) SLE
3994	5G066-0000-023-092 5G066-0000-023-052	CLEIA	血清 0.3			3~5	144 免疫	CLEIA	10.0未満 U/mL		
3821	抗Sm抗体	半定量	血清 0.5	1	冷蔵	4~6	151 免疫	オクタロニー法	陰性 倍		【陽性】全身性強皮症・SLE ループス腎炎・Overlap症候群
3993	5G065-0000-023-092 5G065-0000-023-052	CLEIA	血清 0.3			3~5	151 免疫	CLEIA	10.0未満 U/mL		
3593	抗Scl-70抗体	半定量	血清 0.5	1	冷蔵	4~6	157 免疫	オクタロニー法	陰性 倍		【陽性】全身性強皮症 Overlap症候群
3997	5G085-0000-023-092 5G085-0000-023-052	CLEIA	血清 0.3			3~5	157 免疫	CLEIA	10.0未満 U/mL		
3824	抗SS-A/Ro抗体	半定量	血清 0.5	1	冷蔵	4~6	161 免疫	オクタロニー法	陰性 倍		【陽性】シェーグレン症候群・SLE 多発性筋炎 進行性全身性硬化症 (PSS)
3995	5G076-0000-023-092 5G076-0000-023-052	CLEIA	血清 0.3			3~5	161 免疫	CLEIA	10.0未満 U/mL		
3825	抗SS-B/La抗体	半定量	血清 0.5	1	冷蔵	4~6	158 免疫	オクタロニー法	陰性 倍		【陽性】シェーグレン症候群 亜急性皮膚ループス 新生児ループス
3996	5G077-0000-023-092 5G077-0000-023-052	CLEIA	血清 0.3			3~5	158 免疫	CLEIA	10.0未満 U/mL		
3677	抗セントロメア抗体 5G090-0000-023-052		血清 0.3	1	冷蔵	3~4	174 免疫	CLEIA	10.0未満 U/mL		【陽性】強皮症 原発性胆汁性肝硬変
3856	抗カルジオリピン抗体IgM 5G510-0000-023-023		血清 0.3	1	冷蔵	3~5	226 免疫	ELISA	20.8以下 U/mL		【高値】抗リン脂質抗体症候群 習慣性流産・動静脈血栓症 SLE
9672	抗カルジオリピン抗体 5G508-0000-023-023		血清 0.3	1	冷蔵	3~5	226 免疫	ELISA	12.3以下 U/mL		【高値】抗リン脂質抗体症候群 習慣性流産・動静脈血栓症 SLE
9406	抗カルジオリピンβ_2GPI複合体抗体 (抗CLβ_2GPI抗体) 5G504-0000-023-023		血清 0.3	1	冷蔵	4~6	223 免疫	EIA	3.5未満 U/mL	β_2GPI:β_2グリコプロテインI IgG型抗体	【高値】抗リン脂質抗体症候群 習慣性流産・動静脈血栓症 SLE

自己抗体検査の包括　1回に採取した血液を用いて2項目以上の検査を行った場合
2項目:320点　3項目以上490点

※抗セントロメア抗体は、原発性担汁性肝硬変又は強皮症の診断又は治療方針の決定を目的に用いた場合のみ算定できる。
※抗カルジオリピン抗体と抗カルジオリピンβ2グリコプロテインI複合体抗体を併せて実施した場合は、主たるもののみ箟定する。
・抗カルジオリピンIgG抗体、抗カルジオリピンIgM抗体、抗β2グリコプロテインI IgG抗体及び抗β2グリコプロテインI IgM抗体の検査を併せて実施した場合は、主たるもの3つに限り算定する。

自己抗体検査

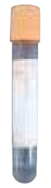
全身性自己抗体

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保 存	所 要 日 数	実施料 判断区分	検査方法	基 準 値	備 考	異常を示す主な疾患
2858	抗RNAポリメラーゼⅢ抗体 5G087-0000-023-023	血清 0.3	1	冷蔵	4～10	170* 免疫	EIA	28.0未満 index		【陽性】強皮症 皮膚硬化の進行 強皮症腎クリーゼ
2304	抗PE抗体IgG (抗フォスファチジルエタノールアミン抗体) 5G512-0000-023-023	血清 0.3	1	冷蔵	不定期		ELISA	キニノーゲン(+)0.300以下 キニノーゲン(−)0.300以下 C.I.		【高値】血栓症・習慣性流産
2305	抗PE抗体IgM (抗フォスファチジルエタノールアミン抗体)	血清 0.3	1	冷蔵	不定期		ELISA	キニノーゲン(+)0.450以下 キニノーゲン(−)0.750以下 C.I.		【高値】血栓症・習慣性流産
3201	抗aPS/PT抗体 (抗フォスファチジルセリン依存性プロトロンビン抗体)	血清 0.4	1	凍結	6～17		EIA	IgG 30.0以下 IgM 30.0以下 Units	aPS/PT抗体 IgG、aPS/PT抗体 IgMを報告します。	【高値】不育症・血栓症 (動・静脈性血栓症など)
3461	抗リン脂質抗体パネル 5G519-0000-023-051	血清 0.6	1	凍結	4～7	678 免疫	CLIA	各20.0以下 U/mL	抗aCL-IgG、抗aCL-IgM、抗aβ2GPI-IgG、抗aβ2GPI-IgMの4項目を報告します。	【高値】自己免疫性疾患、 不育症 動静脈血栓症
9100	抗血小板抗体 5G520-0000-023-103	血清 0.5	1	冷蔵	4～6	261 免疫	MPHA	(−)		【陽性】特発性血小板減少性紫斑病 血小板輸血不応状態
4177	予約検査 PA-IgG 5G525-0000-019-021	ACD-A添加 血液 7.5	84 (専用)	血液 冷蔵	3～5	193 免疫	ELISA	46以下 ng/10^7/セル	ヘパリン血液は不可 受託可能日 月～金	【高値】特発性血小板減少性紫斑病 血小板輸血不応状態・SLE
4094	ループスアンチコアグラント 5G501-0000-022-311	クエン酸Na 血漿 0.5	4	血漿 凍結	3～5	273 免疫	希釈ラッセル 蛇毒試験法	1.2以下		【高値】抗リン脂質抗体症候群 動脈血栓症・静脈血栓症 習慣性流産・血小板減少症
4217	ループスアンチコアグラント(APTT法) 5G500-0000-022-311	クエン酸Na 血漿 1.0	4	血漿 凍結	3～5		APTT 凝固時間法	46.5以下 秒		【高値】抗リン脂質抗体症候群(習慣流産) 冠動脈疾患、関節リウマチ、SLE 突発性血小板減少性紫斑病 (自己免疫性視神経症)
4218	ループスアンチコアグラント(SCT法) 5G502-0000-022-311	クエン酸Na 血漿 0.6	4	血漿 凍結	3～6	273 免疫	リン脂質 中和法	SCT比 1.16未満		【高値】抗リン脂質抗体症候群(習慣流産) 冠動脈疾患、関節リウマチ、SLE 突発性血小板減少性紫斑病 (自己免疫性視神経症)
9559	免疫複合体(C1q) 5G610-0000-023-023	血清 0.3	1	凍結	3～5	153* 免疫	ELISA	3.0以下 μg/mL		【高値】SLE・関節リウマチ 糸球体腎炎・感染症・悪性腫瘍
9216	モノクローナルRF結合免疫複合体 5G635-0000-023-023	血清 0.3	1	冷蔵	3～9	194 免疫	EIA	4.1以下 μg/mL		【高値】関節リウマチ・IgA腎症 SLE・強皮症・シェーグレン症候群 急性糸球体腎炎

＊ 自己抗体検査の包括 1回に採取した血液を用いて2項目以上の検査を行った場合
2項目:320点 3項目以上490点

※抗RNAポリメラーゼⅢ抗体は、びまん性型強皮症の確定診断を目的として行った場合に、1回を限度として算定できる。また、その際陽性と認められた患者に関し、腎クリーゼのリスクが高い者については治療方針の決定を目的として行った場合に、また、腎クリーゼ発症後の者については病勢の指標として測定した場合にそれぞれ3月に1回を限度として算定できる。
※ループスアンチコアグラントは、抗リン脂質抗体症候群の診断を目的として行った場合に限り算定する。
※血小板関連IgG(PA-IgG)は、特発性血小板減少性紫斑病の診断又は経過判定の目的で行った場合に算定する。
※リウマトイド因子(RF) 定量、抗ガラクトース欠損IgG抗体定量、マトリックスメタロプロティナーゼ3 (MMP-3)、C1q結合免疫複合体、モノクローナルRF結合免疫複合体、IgG型リウマトイド因子のうち3項目以上を併せて実施した場合には、主たるもの2つに限り算定する。

1 真空採血管



1 血清・血漿用

4 凝 固

84 PAIgG